

電 気 設 備 工 事 特 記 仕 様 書

工事概要

1. 工事名称	(仮称) 駒ヶ根小規模保育 新築工事		
2. 工事場所	長野県駒ヶ根市中央 1 8 - 3		
3. 竣工期日			
4. 建物概要	建物名称 保育所	消防法	6 項ハ (3)
	主要構造 木造 2 階建		
	延べ面積 1 8 7 , 0 2 m ²		

工事項目 (該当欄に 印の付いているものを本工事の工事項目とする)

工 事 項 目	該 当	備 考
受変電設備工事	・	
自家発電設備工事	・	
幹線動力設備工事	●	
電灯受口設備工事	●	
非常照明・誘導灯設備工事	●	
照明器具供給設備工事	●	
電話設備工事	●	配管配線のみ
インターホン設備工事	●	
ページング設備工事	・	
テレビ共聴視設備工事	・	
監視テレビ設備工事	・	
電気時計設備工事	・	
放送設備工事	・	
自動火災報知設備工事	・	
防排煙運動制御設備工事	・	
ガス漏れ警報設備工事	・	
機械警備設備工事	・	
避雷針設備工事	・	
トイレ呼出設備工事	・	
LAN設備	●	配管配線のみ
非常警報設備	●	

工事仕様

- (1) 本工事は、本仕様書設計図並びに国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「電気設備工事共通仕様書」、「電気設備工事標準圖」に基づき、併せて監督官庁の規定、電気技術基準調査委員会編「内規規定」に従い、円滑にこれを遂行するものとする。
- (2) 本仕様書は、仕様の大要を示すものであり、設計圖と対照して法規上、技術上当然施工すべき事項の他、軽微な変更についても、監理者の指示に従って請負金の範囲内において誠実に施工に当たることとする。

別途事項

- (1) 次に記する事項は別途工事とする。(印のついたものが該当)
- 電力会社工事負担金
- 電話局線引込

図中「別途」と明記のもの

特別留意事項

- (1) 次に記す事項には特に留意すること。(印並びに○印のついたものが該当)
- 本工事の施工場所は埋汚染地域に位置する。
- 弱電設備、防災設備等で特に指示するものは専門メーカーの責任施工とする。
- 本工事で既存設備機器の増設、改造等がある場合は原則として既存設備機器メーカーの製品を使用すること。
- 但し、メーカー保証が得られる場合は他メーカーの製品を使用しても良い。(保証書の提出を要する)
- 本工事は既存施設を使用しながらの施工となるので、既存の電気関連施設の養生、工事中の仮設等を本工事に含む。
- 現場での機器調整並びに試験等は、関連業者或いはメーカー立会の上行うこと。
- 工事終了後は監理者立会の上、各設備の検査・試験を行い、不備のある場合は指定期日以内に修正し再検査を受けること。
- テレビ受信障害除去対策関連として下記の事項を本工事に含む。
- ・ 工事場所周辺のテレビ受信状況事前調査。(電測車を使用のこと)
 - ・ 工事場所周辺のテレビ受信状況事後調査。(電測車を使用のこと)
 - ・ 工事施工中のテレビ受信障害除去対策工事。
 - ・ 事前調査、事後調査に基づくテレビ受信障害除去対策工事の設計。
 - ・ テレビ受信障害除去恒久対策工事。

共通事項

(共通事項で選択技のあるものは◎印のものを適用する)

- | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|---|-----------|-------|-------|---------|--------------------|--|------------|-------|-----------|-------|-------|-----------|--------|-------|-----------|
| 設計図書の優先順位 | <p>設計書内容に明記のない場合又は相違ある場合は、原則として次の優先順位によるものとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現場説明事項、質疑応答事項 2. 本特記仕様書 3. 設 計 図 4. 電気設備工事共通仕様書、電気設備工事標準図 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. 現場代理人の資格 | <p>次の資格を有する者で経歴書並びに会社組織表を提出し、監理者の承諾を受けた者とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第3種電気主任技術者 ・ 建築設備士 ○ 1級電気工事施工管理技士 ・ 2級電気工事施工管理技士 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. 敷地状況の確認 | <p>着工に先立ち地下に埋設された電気ケーブル、給排水管、ガス管及び架設物等を関係機関の協力を得て確認し報告すると共に、事故を未然に防ぐよう留意すること。</p> | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. 実施工程表 | <ol style="list-style-type: none"> (1) 着工に先立ち、実施工程表を作成し、監理者の承諾を受けること。 (2) 実施工程に重要な変更の必要が生じた場合には、速やかに変更実施工程表を作成し、監理者の承諾を受けること。 (3) 監理者の指示により、実施工程表の補正として、週間又は月間工程表、工種別工程表を作成し、提出すること。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5. 施工計画書 | <p>着工に先立ち、工種別に機器、材料、工法、品質管理等を具体的に定めた施工計画書を作成し、監理者の承諾を受けること。</p> | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6. 官公署等への手続 | <p>本工事に必要な関係諸官公署等への申請手続き並びに検査立会等は、請負者が滞りなく行い、これに要する費用も請負者の負担とする。</p> | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7. 機器及び材料 | <ol style="list-style-type: none"> (1) 設計図に明記の機器及び材料の他は、資材指定一覧表による。 (2) 同じ種類の機材は他社の機材と混用しないで一社に統一すること。 (3) 主要機材は、発注前に「使用予定機材一覧表」を提出して監理者の承諾を受けること。 (4) 主要機材については、発注前に製作図を提出して監理者の承諾を受けること。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8. 機材の検査、試験 | <ol style="list-style-type: none"> (1) 本工事に使用する主要機器は、各製造工場において所定の検査試験を行い、現場搬入の際にその成績書を添付すること。 (2) 主要機器で特に監理者の指示するものは、製造工場において立会検査を行う。但し、これに要する費用は全て請負者の負担とする。 (3) 現場での機器調整及び試験等は、関連業者或いはメーカー立会の上行うこと。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9. 下請負業者 | <p>下請負者の選定に当たっては、工事着手前に下請負人選定通知書を提出し、監理者の承諾を受けること。</p> | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10. 工事用電力、水 | <p>工事用及び試験用電力、用水、排水等は全て請負者の負担とする。</p> | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11. 土工事 | <ol style="list-style-type: none"> (1) 埋設電路の土かぶりとは原則として 0.6m 以上とし、車両その他重量物の圧力を受ける恐れのある場所は 1.2m 以上とする。 (2) 埋戻し及び盛り土種別 <ul style="list-style-type: none"> ・ 購入土（山砂の類） ・ 根切土の中の良質土 (3) 残土処理 <ul style="list-style-type: none"> ・ 構内指示場所に敷均 ・ 構内指示場所に推積 ・ 構外搬出適切処理 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12. 発生材の処理 | <ol style="list-style-type: none"> (1) 引渡しを要するものは、指定の場所に整理の上、調書を添えて監理者に引渡すこと。 (2) 引渡しを要しないものは、全て場外に搬出し、関係法令に従い適切に処理すること。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 13. 工事報告 | <ol style="list-style-type: none"> (1) 工事の進捗、材料の検査などの状況を示す工事報告書と工事状況を示す写真を毎月末に提出のこと。 (2) 完成後点検できない主要部分及び監理者が必要と認め指示する部分を施工した場合は、その施工状況を確認できる工事写真を直ちに提出のこと。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 14. 耐震措置 | <p>機器及び配管等は、地震時に水平移動・転倒・落下等が生じないよう、国土交通省住宅局建築指導課監修の「建築設備耐震設計施工指針」に基づく耐震措置を施すこと。</p> <p>地震力の計算に用いる地域係数及び標準震度は下記の通り。</p> <table border="1"> <tr> <td>地域係数</td> <td>・ 1.0</td> <td>・ 1.5</td> </tr> <tr> <td>設計用標準震度</td> <td colspan="2">（重要度の高い設備機器は 印とする）</td> </tr> <tr> <td>最上階、屋上及び棟屋</td> <td>・ 1.0</td> <td>・ 1.5 2.0</td> </tr> <tr> <td>2階床以上</td> <td>・ 0.6</td> <td>・ 1.0 1.3</td> </tr> <tr> <td>地階及び1階</td> <td>・ 0.4</td> <td>・ 0.6 0.6</td> </tr> </table> <p>（重要度の高い設備は、受変電設備、自家発電設備、直流電源装置、C V C F 電源装置、電話設備、防災設備とする。）</p> | 地域係数 | ・ 1.0 | ・ 1.5 | 設計用標準震度 | （重要度の高い設備機器は 印とする） | | 最上階、屋上及び棟屋 | ・ 1.0 | ・ 1.5 2.0 | 2階床以上 | ・ 0.6 | ・ 1.0 1.3 | 地階及び1階 | ・ 0.4 | ・ 0.6 0.6 |
| 地域係数 | ・ 1.0 | ・ 1.5 | | | | | | | | | | | | | | |
| 設計用標準震度 | （重要度の高い設備機器は 印とする） | | | | | | | | | | | | | | | |
| 最上階、屋上及び棟屋 | ・ 1.0 | ・ 1.5 2.0 | | | | | | | | | | | | | | |
| 2階床以上 | ・ 0.6 | ・ 1.0 1.3 | | | | | | | | | | | | | | |
| 地階及び1階 | ・ 0.4 | ・ 0.6 0.6 | | | | | | | | | | | | | | |
| 15. 貫通部防火措置 | <p>建築物の耐火構造もしくは防火区画を構成する壁又は床の貫通部には、建築基準法に適合した措置又は財団法人日本建築センターの防火性能評定を受けた工法並びに材料（2時間耐火性能の評定を受けたものとし、工法表示ラベルを貼付）を用いた措置を行うこと。</p> | | | | | | | | | | | | | | | |
| 16. 塩害対策 | <p>塩害汚染の恐れがある場合は必要な対策を行うこと。（特に屋外設置の機器類は重耐塩仕様のものを使用すること。）</p> | | | | | | | | | | | | | | | |
| 17. 地中線路の余長等 | <ol style="list-style-type: none"> (1) マンホール、ハンドホール内でケーブルの余長を設けること。（1面所以上） (2) マンホール、ハンドホール内ではケーブルの支持を確実にすること。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 18. 呼び線の挿入 | <p>長さ1m以上の入線しない管路には1.2mm以上のビニル被覆電線を呼び線として挿入すること。</p> | | | | | | | | | | | | | | | |

- | | |
|-------------|--|
| 20. 保温・結露防止 | 建築工事に於てP.F板（スタイロフォーム等）打込みの箇所に取付ける位置ボックス等は保温、結露防止措置を行うこと。 |
| 21. 再使用機器 | 取外し再使用機器は、清掃・点検・調整及び絶縁抵抗測定の上取付けること。 |
| 22. 塗装仕上 | 配管並びにブルボックス等で、見え掛かり部分に設けるものは、全て周囲の仕上りと同色に塗装仕上げを行うこと。 |
| 23. 設備説明板 | 主要な設備機器類及び一連の装置などの取扱い要領並びに重要な定期点検項目を記した説明板を作成し、指示する場所に取付けること。 |
| 24. 予備品等の引継 | 設計図に明記の予備品（付属品を含む）及び機器付属の予備品等は引継目録を添えて提出のこと。また鍵等はプラスチック名称板（鎖付）を付けて提出のこと。 |
| 25. 工事監理用図面 | 工事監理用として、本設計図面の全てを工事前手にマイクロフィルムに撮影し、縮尺1/2のフィルム原図と縮小版白図製本（5部）を提出のこと。 |
| 26. 完成図書 | 工事竣工引渡し時には、下記の書類を作成し、監理者の承認を得て提出のこと。
（但し、完成図・完成写真は竣工後15日以内に提出すれば良いものとする。） |

提出書類	提出部数	
	建築主	監理者
a. 完成図製本	部	部
b. 完成図製本（A3版縮小図）	1部	2部
c. 完成図のマイクロフィルム（保存用35mmロール）		部
d. 同上（35mmジャケット入り活用）		
e. 施工図製本	1部	2部
f. 工事写真（一式ファイルに整理したもの）	1部	1部
g. 完成写真（カラー写真キャビネ版、アルバム入り、撮影箇所及び撮影枚数は指示による）	部	部
h. 試験成績書（接地抵抗、絶縁耐力、保護継電器動作、絶縁抵抗、照度、その他指示による）	1部	1部
i. 主要機器資料（図面、取扱説明書、試験性能記録、保守に関する説明書）	1部	1部
j. 主要機材納入業者一覧表（メーカー、代理店、担当者、電話番号を明記）	1部	1部
k. 官公署の許認可書類、届出書類	1部	1部
l. 非常時連絡先一覧表（請負者、メーカー、諸官庁）	1部	1部

・各部数は建築工事特記仕様書による。

27. 他工事との取合	設計図に明記以外は下表によるほか、監理者の指示による。
-------------	-----------------------------

他工事との取合い	建築	電気	機械
a. 配電盤、制御盤の基礎	●		
b. 発電機の基礎	●		
c. テレビアンテナ、避雷針の屋上基礎			
d. 配線、配管ビット及び開口部の蓋	●		
e. 梁、床、壁、貫通部の補強	●		
f. 梁、床、壁、貫通部のスリーブ、仮枠		●	
g. 埋込分電盤及び埋込ブルボックスの壁補強	●		
h. 埋込分電盤及び埋込ブルボックスの仮枠		●	
i. 照明器具、幹線等の吊りボルト用インサート		●	
j. 天井、壁、ボード類の開口		●	
k. 天井、壁、開口部の下地補強	●		
l. 天井、壁、床、点検口	●		
m. 機械設備機器付属制御盤以降の配線			●
n. 上記制御盤への電源供給、操作回路の渡り配線		●	
o. 天吊り空調機、ファンコイルと操作スイッチとの渡り配線及び操作スイッチ（機械設備支給品）の取付			●
p. 自動扉、電動シャッター等電動建具の1次側配線		●	
q. 自動扉、電動シャッター等電動建具の2次側配線	●		

28. 限定品・評定品	本工事に使用する機材の内、下表に記すものは、認定委員会などで認定され、認定票を貼付したもの、又は認可されたものを使用すること。
-------------	---

機材名	記 事
耐火耐熱電線	耐火耐熱電線認定業務委員会の認定を受けている旨の表示をしたもの
非常照明器具	防災性能評定委員会の評定マークが貼付されたもの
誘導灯器具	誘導灯認定委員会の認定証票が貼付されたもの
運動制御機器	防災性能評定委員会の評定マークが貼付されたもの
非常放送機器	非常放送設備委員会の認定証票が貼付されたもの
非常警報機器	非常警報設備認定委員会の認定証票が貼付されたもの
火災報知機器	日本消防検定協会の検定証が貼付されたもの

資材指定

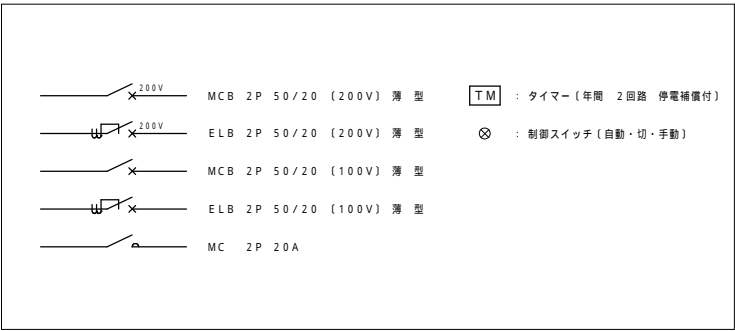
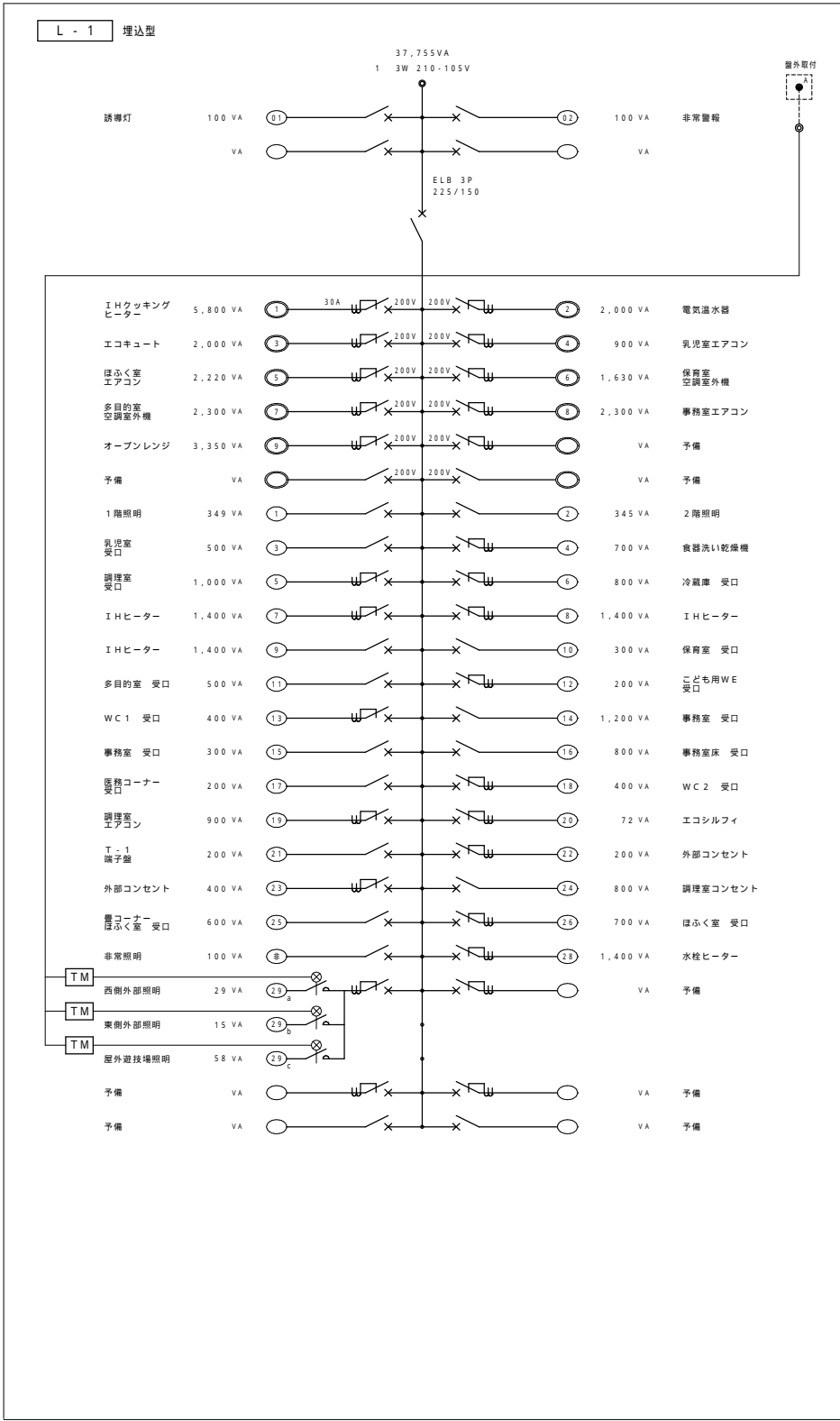
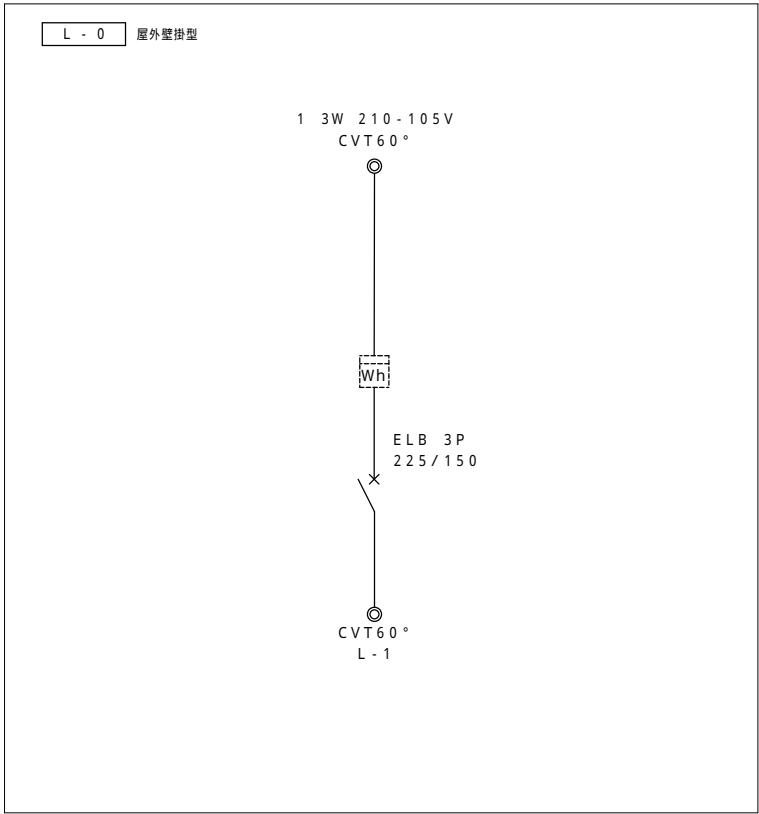
- (1) 本工事に使用する機材は、下記の指定一覧表に記載の製造業者の製品より選定し、監理者の承認を得たものとする。
- (2) 機材の取付や専門工事を伴う場合は、建設業の許可を有する専門工事業者の責任施工とする。
- (3) 現場の特殊性、地域性により下記の指定一覧表に記載無き製造業者の製品を使用したい場合は、事前に監理者と協議し、承認を得た上で選定作業に入ること。

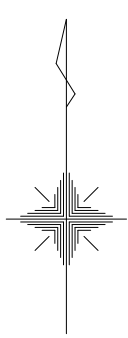
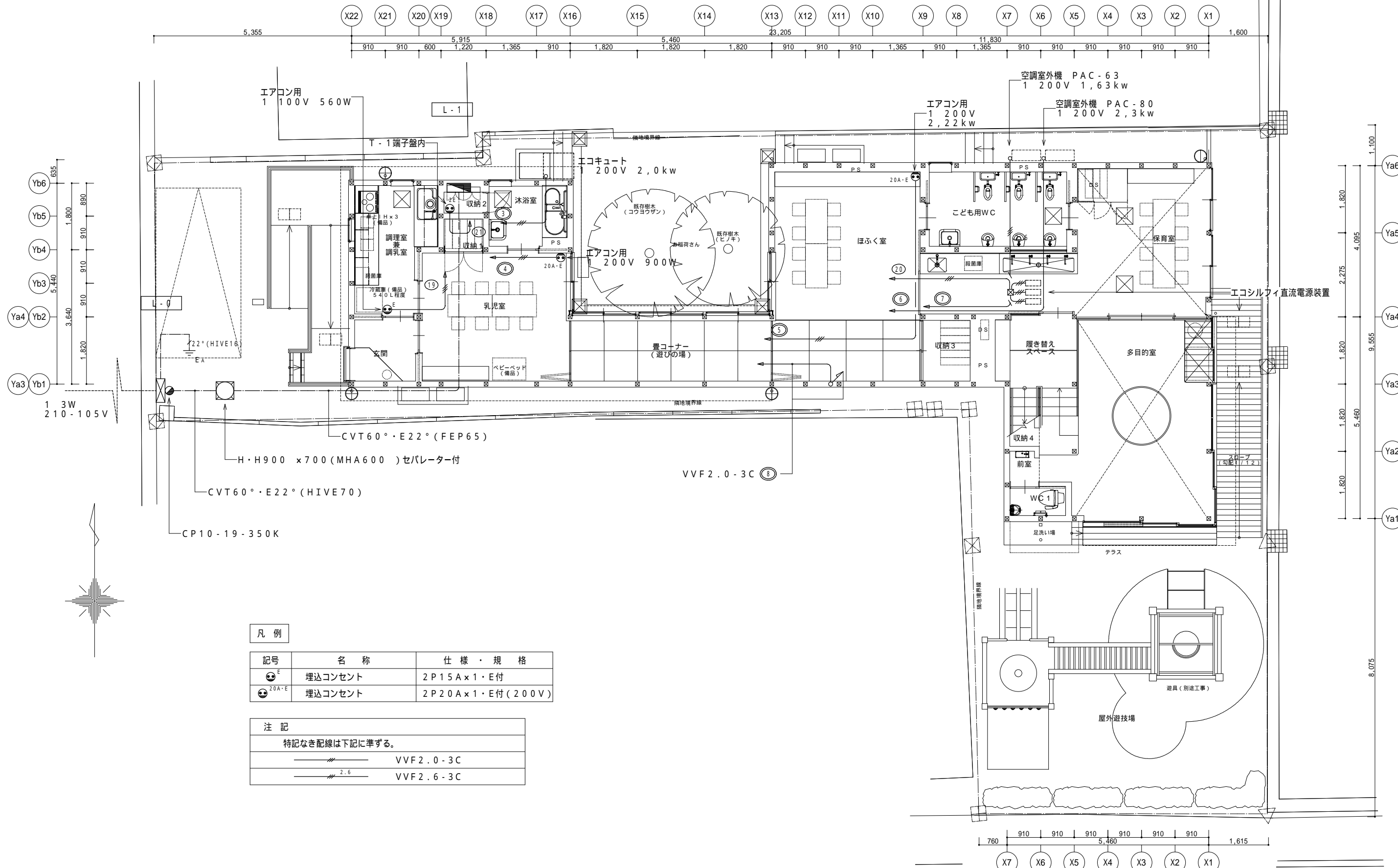
電気設備工事機材製造業者指定一覧表

電線管・付属品 (金属製電線管)	パナソニック 丸栄電機 未来工業	東芝銅管 ニチア	日本パイプ 外山電気	丸一銅管 寺田電機	拱陽工業 三桂製作所
電線管・付属品 (樹脂製電線管)	パナソニック 東拓工業	日本パイプ 未来工業	積水化学	三菱樹脂	古河電工
ケーブルラック	パナソニック 日亜金属	ネグロス電工 日本パイプ	南電機	森電機	昭和電線
電線・ケーブル (一般配線用)	日立電線 三菱電線	住友電工 矢崎電線	古河電工	フジクラ	昭和電線
電線・ケーブル (耐火・耐熱配線用)	日立電線 三菱電線 タツタ電線	住友電工 矢崎電線	古河電工 沖電線	フジクラ 華陽電線	昭和電線 富士電線
高低圧受配電盤	大日製作所 明電舎	別川製作所 三菱電機	川崎電気 パナソニック	日立製作所 東芝ライテック	内外電機
制御盤・分電盤	大日製作所 明電舎	別川製作所 三菱電機	川崎電気 パナソニック	日立製作所 東芝ライテック	内外電機 三陽製作所
端子盤・機器収納箱	大日製作所 明電舎	別川製作所 三菱電機	川崎電気 パナソニック	日立製作所 東芝ライテック	内外電機 三陽製作所
高低圧開閉機器	戸上電機 富士電機	日本高圧 東京芝浦電気	エナジーサポート 日章電機	三菱電機 パナソニック	日立製作所 明電舎
保護継電器	日立製作所 明電舎	東京芝浦電気 日新電機	三菱電機 光商工	富士電機 パナソニック	立石電機
変圧器・進相器	東京芝浦電気 日新電機	日立製作所 愛知電機	三菱電機 ニチコン	パナソニック	大坂変圧器
発電機	ヤンマー	三菱電機	日立製作所	明電舎	東京芝浦電気
照明器具 (一般工事用器具 ・意匠用器具)	パナソニック 山田照明	東芝ライテック 遠藤照明	大光電機 小泉産業	ヤマギワ照明	オーヤマ照明
照明器具 (HID器具)	パナソニック 小糸工業	東芝ライテック	岩崎電気	日本電池	三菱電機
照明器具 (演出用器具)	パナソニック 松村電機	東芝ライテック R D S	大光電機 オーヤマ照明	ヤマギワ照明 山田照明	丸茂電機 遠藤照明
配線機具	パナソニック	東芝ライテック	明工社	神保電器	
電話機器	日本電気 岩崎通信機	富士通	日立製作所	沖電気	パナソニック
ベージング機器	パナソニック	大井電気	日立製作所		
インターホン機器	パナソニック	アイホン	東芝ライテック	新星電機	
テレビ共聴視機器	マスプロ電工 宮崎電線	D Xアンテナ ホーチキ	パナソニック	愛知電子	八木アンテナ
監視テレビ機器	パナソニック	日本ビクター	ソニー	日立電子	T O A
電気時計機器	パナソニック	服部セイコー	T I C システム		
放送機器	パナソニック	日本ビクター	T O A	東芝ライテック	ソニー
音響機器	パナソニック ボーズ	日本ビクター ヤマハ	不二音響 T O A	ソニー	パイオニア
自動火災報知機器	能美防災	ホーチキ	ニッタン	パナソニック	
防排煙運動制御機器	上記自動火災報知器に準ず				
ガス漏れ警報機器	上記自動火災報知器に準ず				
避雷針	大坂避雷針	東京避雷針	名古屋避雷針	島村電機	ワールド

- 本工事に使用する機材の内、下表に記すものは、認定委員会などで認定され、認定票を貼付したもの、又は認可されたものを使用すること。

機材名	記 事
耐火・耐熱電線	耐火・耐熱電線認定業務委員会の認定を受けている旨の表示をしたもの
非常照明器具	防災性能評定委員会の評定マークが貼付されたもの
誘導灯器具	誘導灯認定委員会の認定証票が貼付されたもの
運動制御機器	防災性能評定委員会の評定マークが貼付されたもの
非常放送機器	非常放送設備委員会の認定証票が貼付されたもの
非常警報機器	非常警報設備認定委員会の認定証票が貼付されたもの
火災報知機器	日本消防検定協会の検定証が貼付されたもの

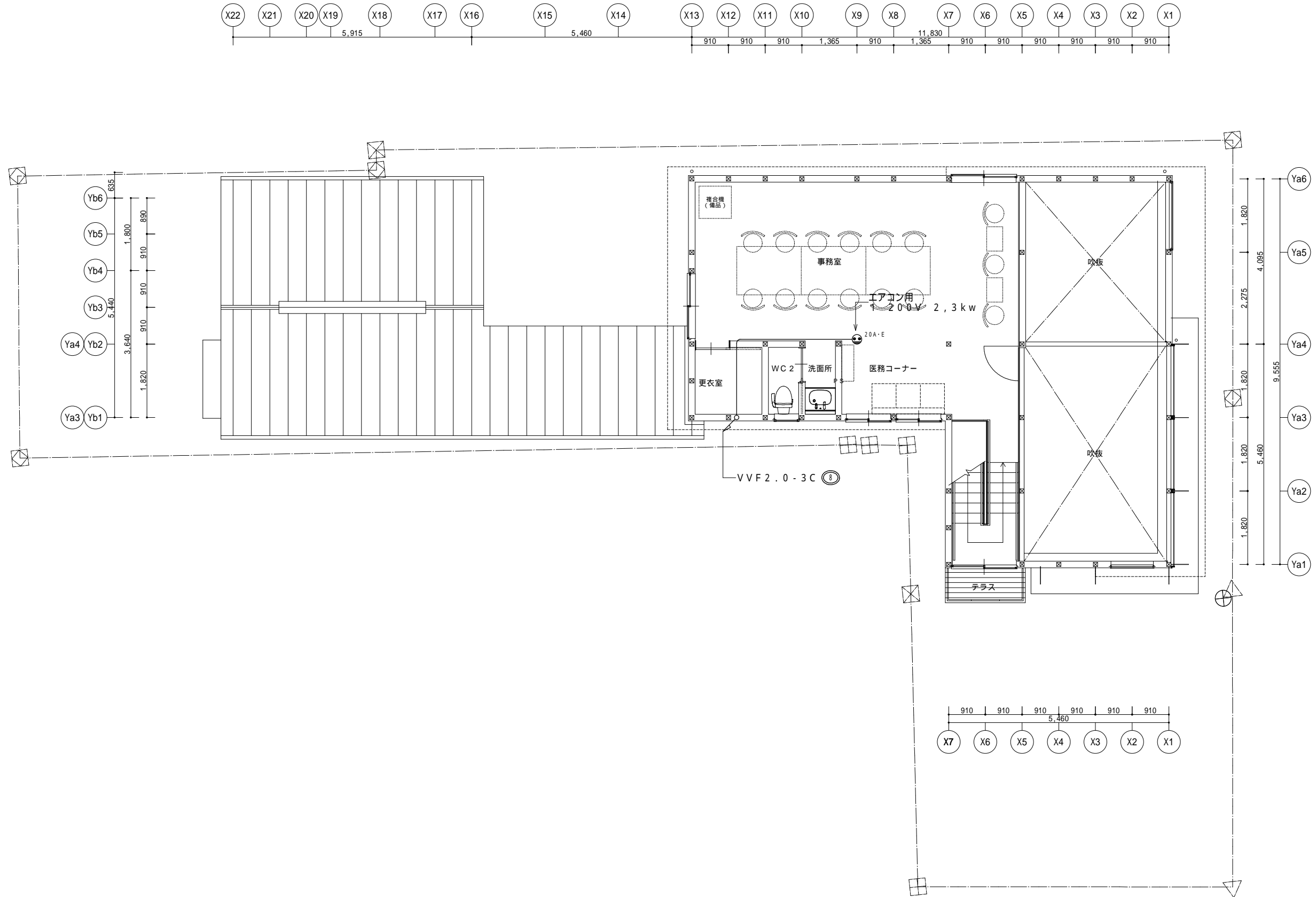


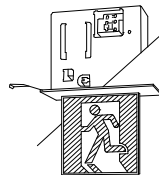

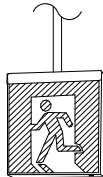
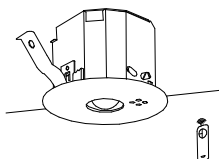
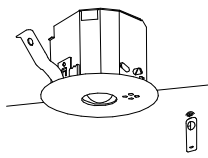
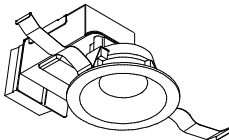
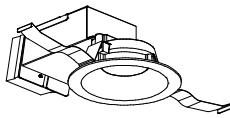
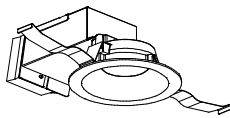



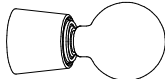

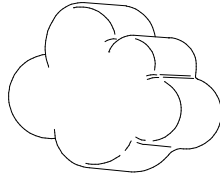
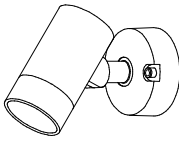



凡 例

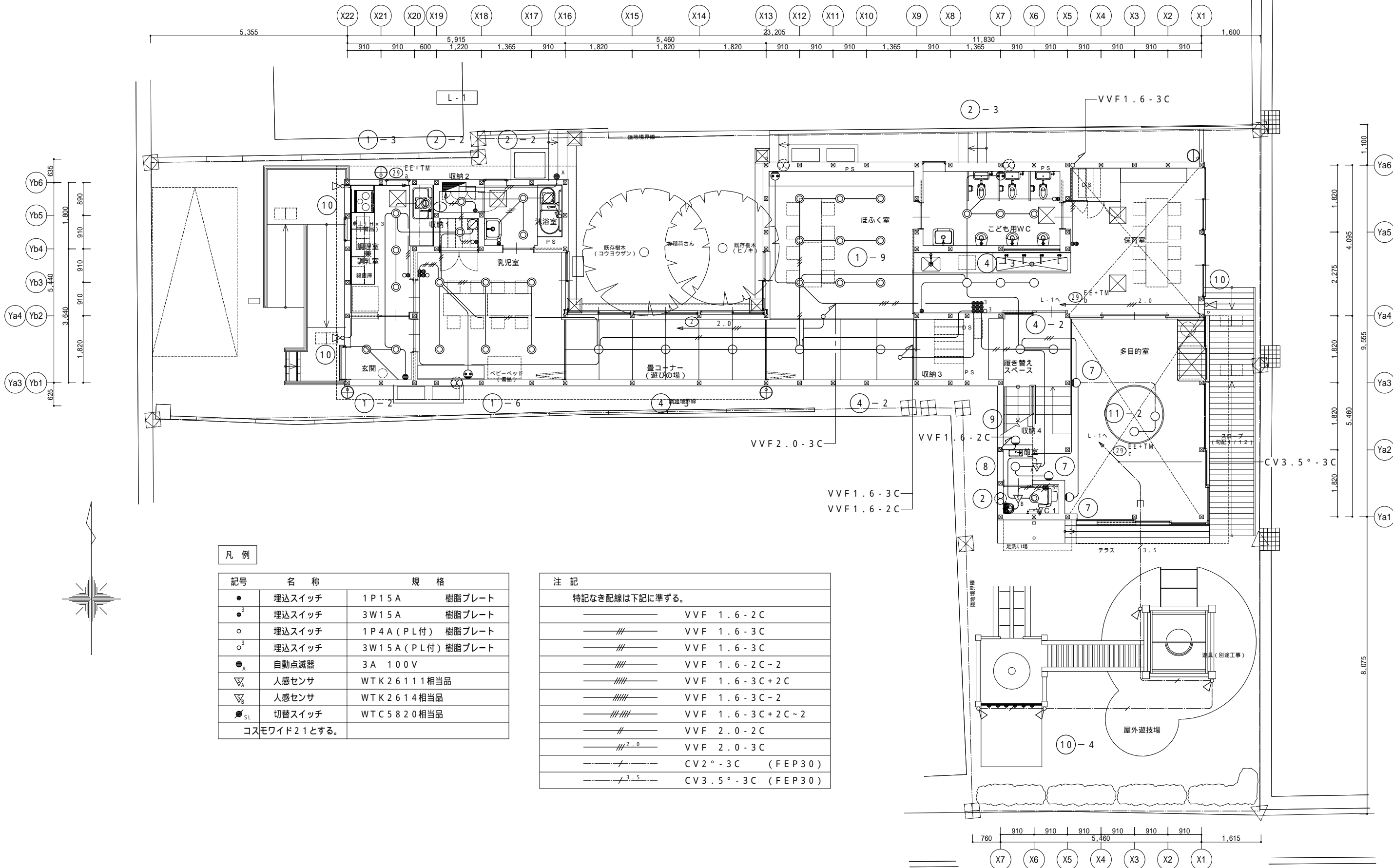
記号	名 称	仕 様 ・ 規 格
	埋込コンセント	2 P 15 A x 1 ・ E 付
	埋込コンセント	2 P 20 A x 1 ・ E 付 (200 V)

注 記		
特記なき配線は下記に準ずる。		
		VVF2.0-3C
		VVF2.6-3C



避難口誘導灯 天井埋込型 片面型		避難口誘導灯 天井直付 片面型		避難口誘導灯 バイブ吊 片面型		非常照明器具 埋込型 リモコン自己点検機能付		非常照明器具 埋込型 リモコン自己点検機能付																																																							
						 <table><caption>標準寸法: D 92 K O 143779</caption><tr><th>器具形状寸法</th><th>2.1h</th><th>2.4h</th><th>2.6h</th><th>3.0h</th></tr><tr><td>器具高さ</td><td>A.1</td><td>3.8</td><td>4.0</td><td>4.3</td></tr><tr><td>器具幅</td><td>A.2</td><td>8.8</td><td>9.4</td><td>9.7</td></tr><tr><td>器具重量</td><td>A.4</td><td>8.9</td><td>7.6</td><td>8.1</td></tr></table>		器具形状寸法	2.1h	2.4h	2.6h	3.0h	器具高さ	A.1	3.8	4.0	4.3	器具幅	A.2	8.8	9.4	9.7	器具重量	A.4	8.9	7.6	8.1	 <table><caption>標準寸法: D 92 K O 143775</caption><tr><th>器具形状寸法</th><th>2.1h</th><th>2.4h</th><th>2.6h</th><th>3.0h</th><th>4.0h</th><th>5.0h</th><th>6.0h</th></tr><tr><td>器具高さ</td><td>A.1</td><td>5.4</td><td>5.9</td><td>6.3</td><td>6.9</td><td>7.9</td><td>8.4</td></tr><tr><td>器具幅</td><td>A.2</td><td>11.3</td><td>12.7</td><td>13.5</td><td>15.2</td><td>18.6</td><td>21.9</td></tr><tr><td>器具重量</td><td>A.4</td><td>8.5</td><td>9.8</td><td>10.2</td><td>11.6</td><td>14.6</td><td>17.2</td></tr></table>		器具形状寸法	2.1h	2.4h	2.6h	3.0h	4.0h	5.0h	6.0h	器具高さ	A.1	5.4	5.9	6.3	6.9	7.9	8.4	器具幅	A.2	11.3	12.7	13.5	15.2	18.6	21.9	器具重量	A.4	8.5	9.8	10.2	11.6	14.6	17.2		
器具形状寸法	2.1h	2.4h	2.6h	3.0h																																																											
器具高さ	A.1	3.8	4.0	4.3																																																											
器具幅	A.2	8.8	9.4	9.7																																																											
器具重量	A.4	8.9	7.6	8.1																																																											
器具形状寸法	2.1h	2.4h	2.6h	3.0h	4.0h	5.0h	6.0h																																																								
器具高さ	A.1	5.4	5.9	6.3	6.9	7.9	8.4																																																								
器具幅	A.2	11.3	12.7	13.5	15.2	18.6	21.9																																																								
器具重量	A.4	8.5	9.8	10.2	11.6	14.6	17.2																																																								
FA10352 LE1 電池内蔵		FA10312C LE1 電池内蔵		FA10312C LE1 電池内蔵		NNFB90605C 電池内蔵		NNFB93605C 電池内蔵																																																							
A C級		B C級		C C級		D 低天井用 (~ 3 m)		E 中天井用 (~ 6 m)																																																							
<p>ダウンライト</p>  <p>DDL8790YW 2,700K</p>		<p>ダウンライト</p>  <p>DDL8789YW 2,700K</p>		<p>ダウンライト</p>  <p>DDL8786YW 2,700K</p>		<p>シーリングライト</p>  <p>DCL38869YE 2,700K</p>		<p>ペンダントライト</p>  <p>DPN41369Y 2,200K</p>		<p>ペンダントライト</p>  <p>DPN41369Y 2,200K</p>		<p>シーリングライト</p>  <p>DCL41374Y 2,200K</p>																																																			
1 LED 7.6W		2 LED 5.2W		3 LED 7.6W		4 LED 4.9W		5 LED 2.5W		6 LED 2.5W		7 LED 2.5W																																																			
<p>シーリングライト</p>  <p>DCL41374Y 2,200K</p>		<p>ブラケット</p>  <p>DBK41359YE 2,700K</p>		<p>スポットライト</p>  <p>DOL4827YW 2,700K</p>		<p>床埋込型</p>  <p>DOL5315YUE 2,700K</p>																																																									
8 LED 2.5W		9 LED 4.6W		10 LED 14.5W		11 LED 5.9W																																																									

色温度・照射角については発注前に再確認を行う

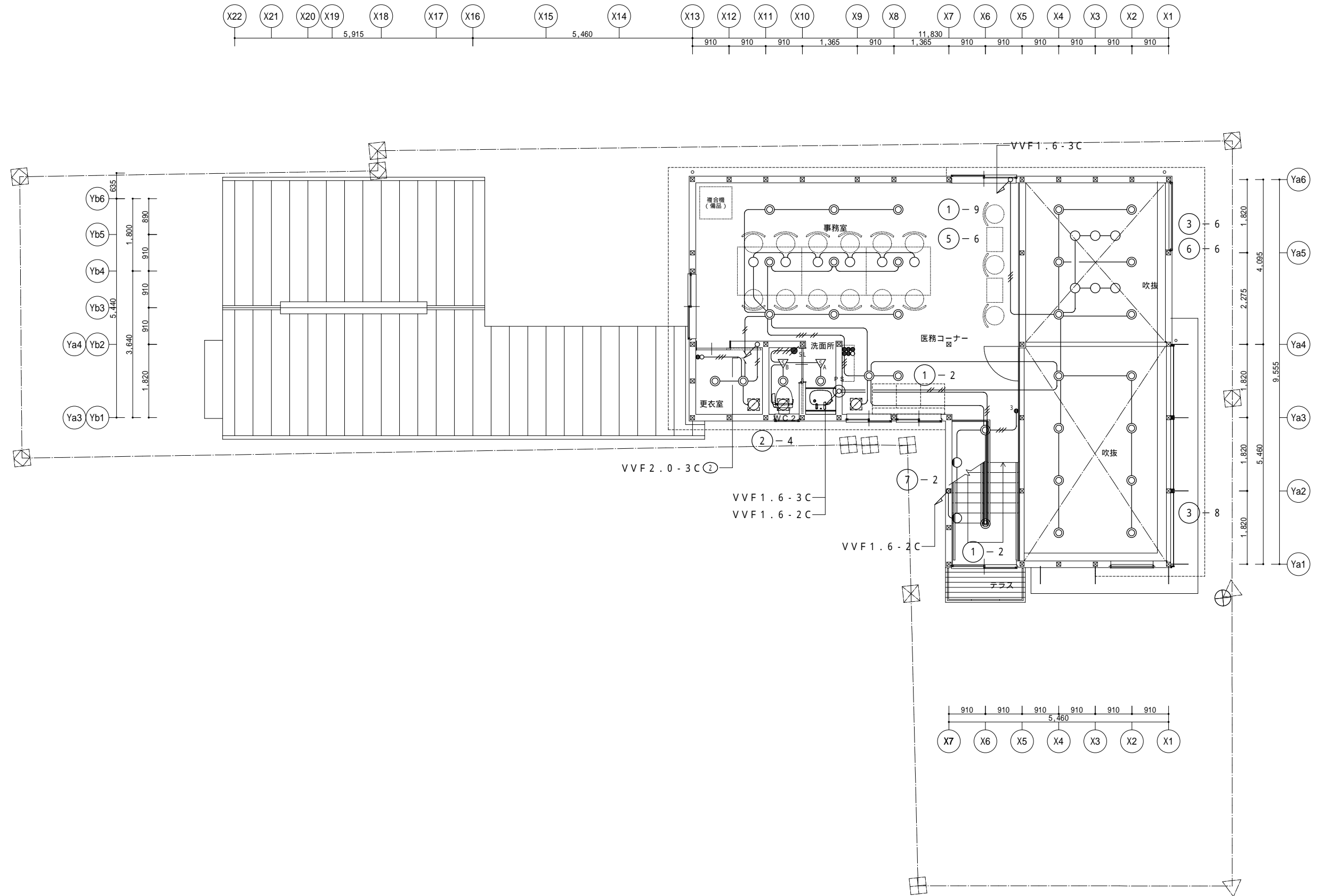


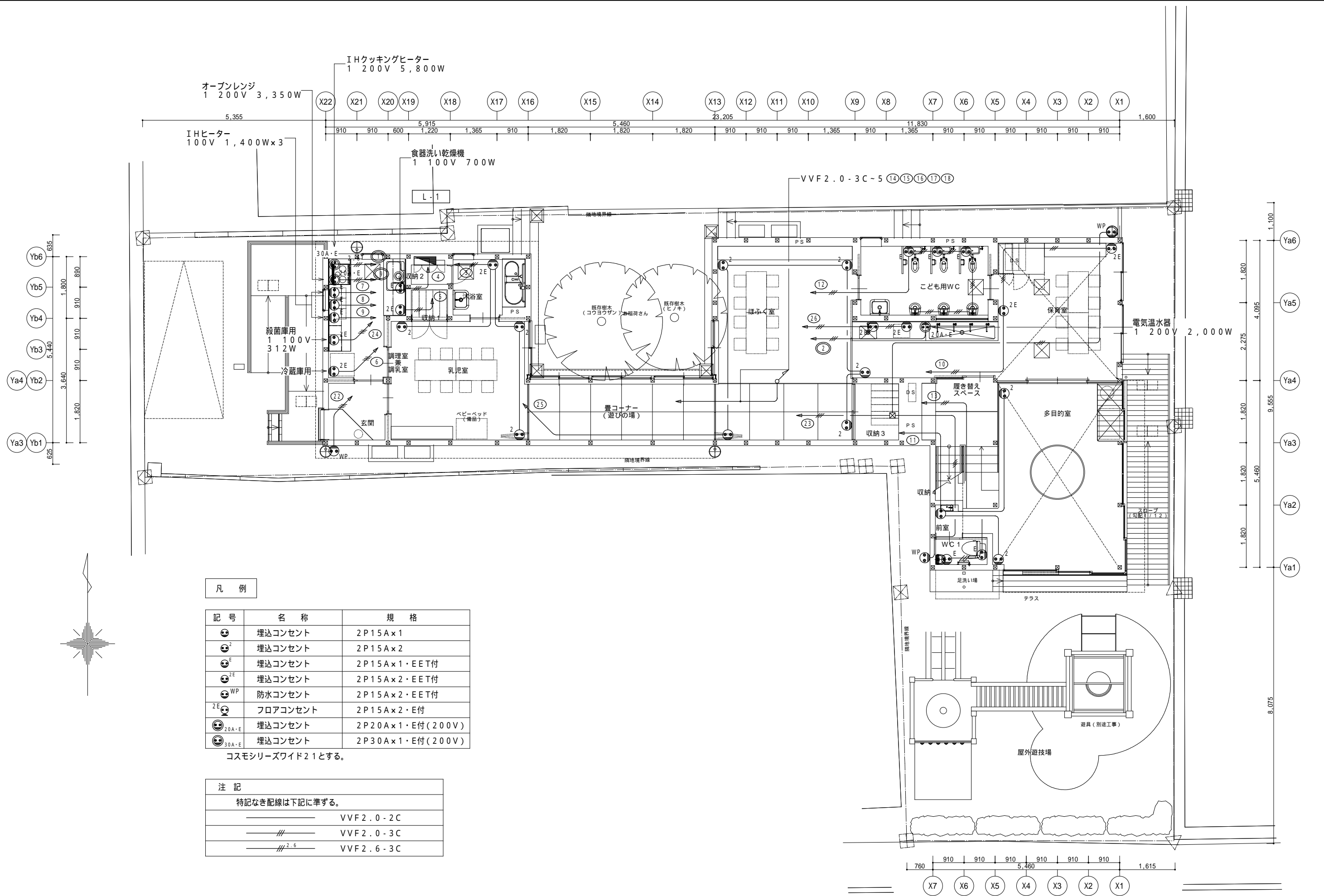
凡 例

記号	名 称	規 格
●	埋込スイッチ	1P15A 樹脂プレート
● ³	埋込スイッチ	3W15A 樹脂プレート
○	埋込スイッチ	1P4A (PL付) 樹脂プレート
○ ³	埋込スイッチ	3W15A (PL付) 樹脂プレート
● _A	自動点滅器	3A 100V
▽ _A	人感センサ	WTK26111相当品
▽ _B	人感センサ	WTK2614相当品
● _{SL}	切替スイッチ	WTC5820相当品
コスモワイド21とする。		

注 記

特記なき配線は下記に準ずる。	
——	VVF 1.6-2C
——//——	VVF 1.6-3C
——///——	VVF 1.6-3C
——////——	VVF 1.6-2C~2
——/////——	VVF 1.6-3C+2C
——//////——	VVF 1.6-3C~2
——////////——	VVF 1.6-3C+2C~2
——//——	VVF 2.0-2C
——// ^{2.0} ——	VVF 2.0-3C
——/——	CV2°-3C (FEP30)
——/ ^{3.5} ——	CV3.5°-3C (FEP30)



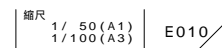


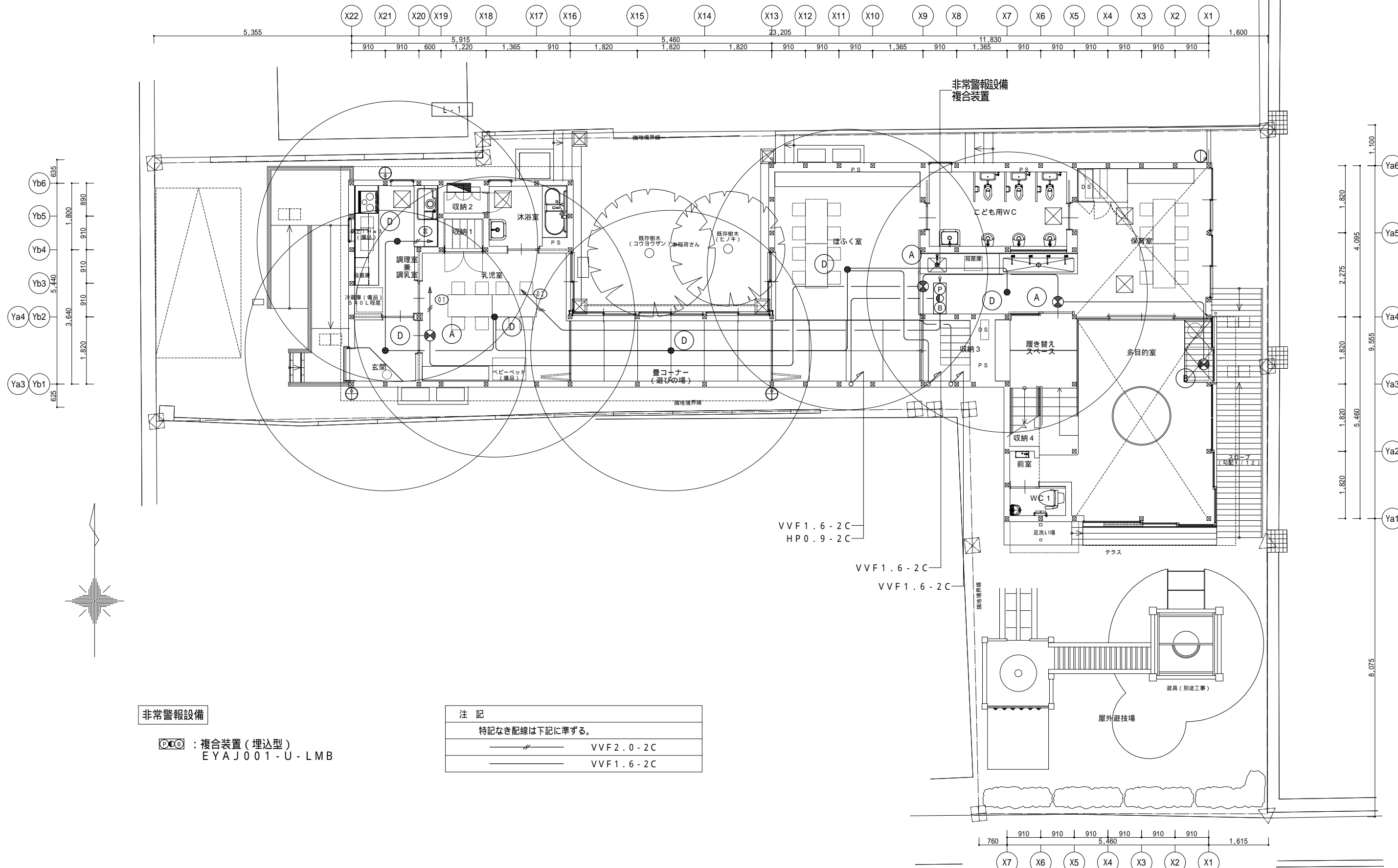
凡 例

記 号	名 称	規 格
Ⓢ	埋込コンセント	2P15A×1
Ⓢ ²	埋込コンセント	2P15A×2
Ⓢ ^E	埋込コンセント	2P15A×1・EET付
Ⓢ ^{2E}	埋込コンセント	2P15A×2・EET付
Ⓢ ^{WP}	防水コンセント	2P15A×2・EET付
Ⓢ ^{2E}	フロアコンセント	2P15A×2・E付
Ⓢ ^{20A・E}	埋込コンセント	2P20A×1・E付(200V)
Ⓢ ^{30A・E}	埋込コンセント	2P30A×1・E付(200V)

コスモシリーズワイド21とする。

注 記	
特記なき配線は下記に準ずる。	
———	VVF2.0-2C
———	VVF2.0-3C
——— ^{2.6}	VVF2.6-3C

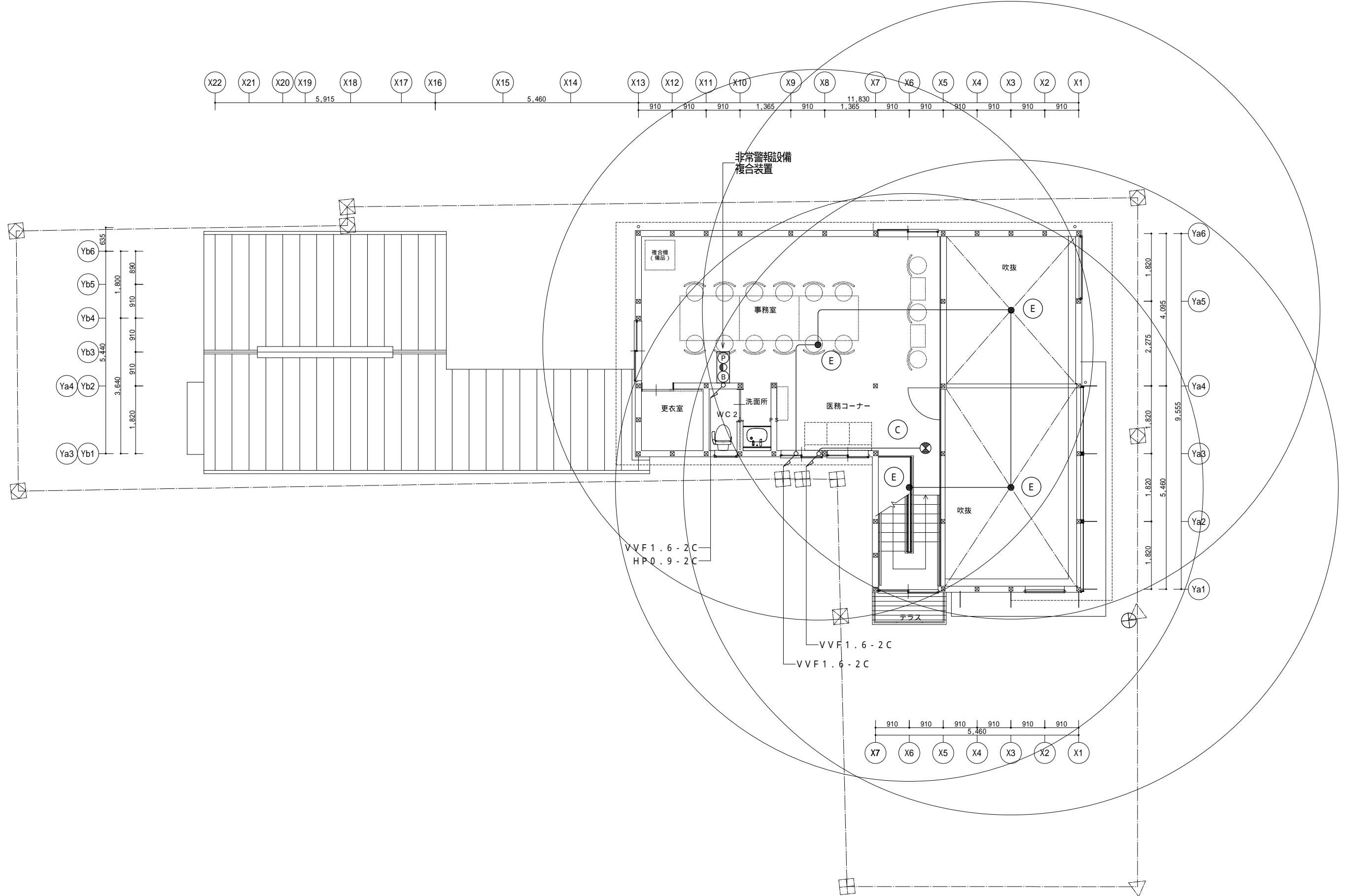




非常警報設備

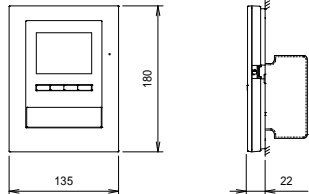
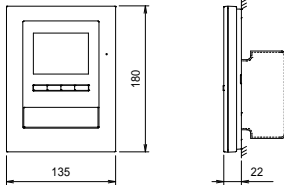
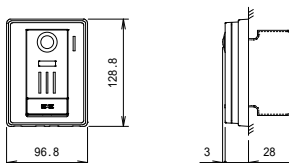
ⓈⓂⓂ : 複合装置 (埋込型)
EYAJ001-U-LMB

注 記	
特記なき配線は下記に準ずる。	
———	VVF2.0-2C
———	VVF1.6-2C

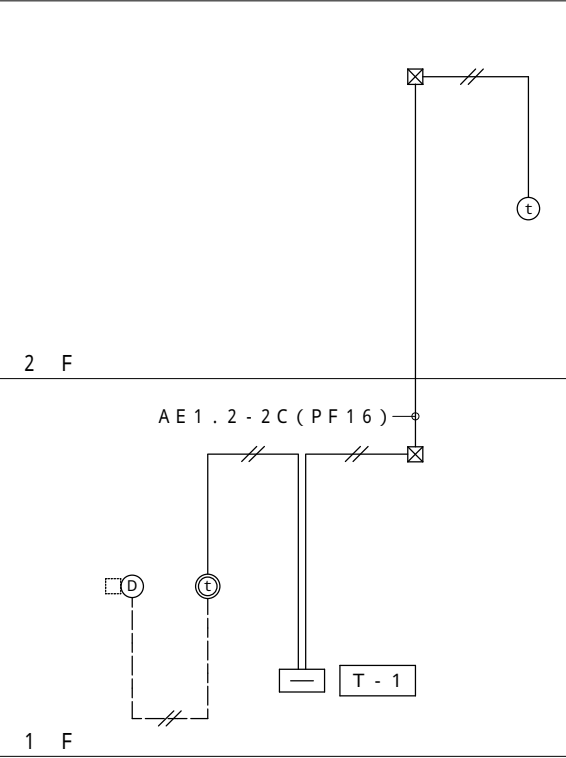


凡 例

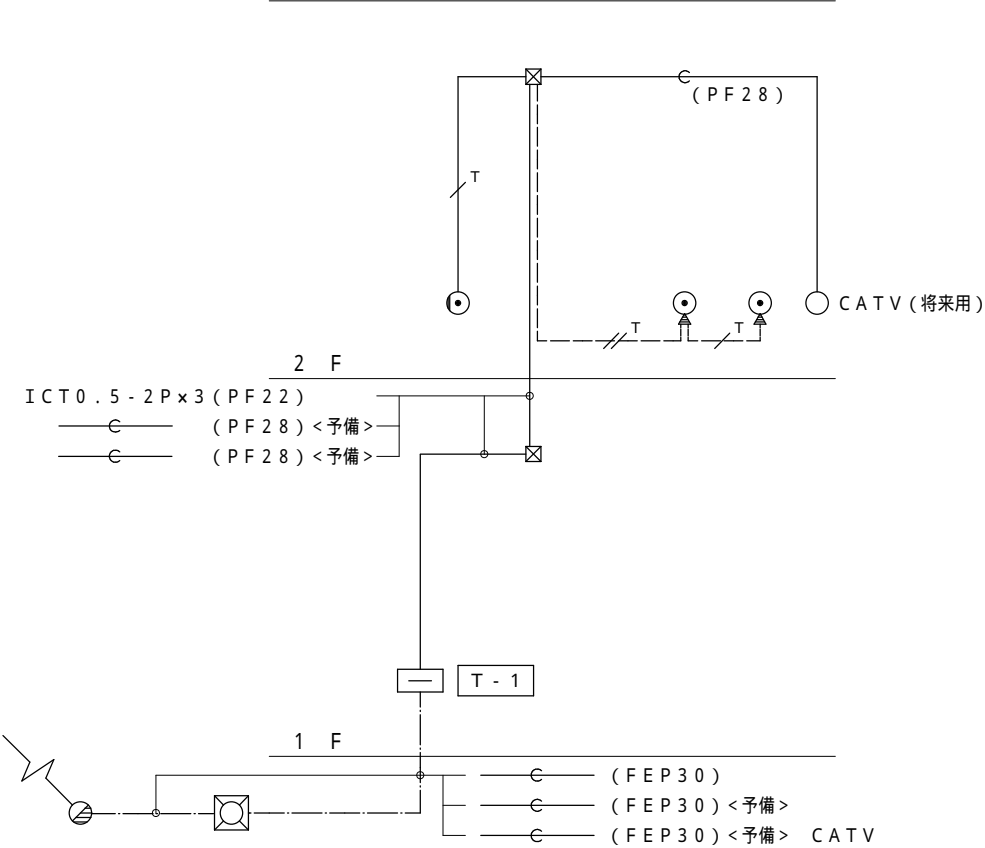
記 号	名 称	備 考	注 記
㊦	インターホン親機	壁付 カラーモニター付 (姿図参照)	1 . 特記なき配管配線は下記とする。 インターホン設備 -----//----- AE 1 . 2 - 2 C 天井内転がし配線 -----//----- AE 1 . 2 - 2 C (PF 1 6) 土間配管 電話設備 -----/T----- ICT 0 . 5 - 2 P (PF 1 6) 天井隠べい配管 -----/T----- ICT 0 . 5 - 2 P (PF 1 6) 1 階天井内 -----//T----- ICT 0 . 5 - 2 P × 2 (PF 1 6) 1 階天井内 LAN設備 -----/L----- UTP 0 . 5 - 4 P (PF 1 6) 天井隠べい配管 -----/L----- UTP 0 . 5 - 4 P (PF 1 6) 1 階天井内 -----//L----- UTP 0 . 5 - 4 P × 2 (PF 1 6) 1 階天井内
㊧	インターホン副親機	壁付 カラーモニター付 (姿図参照)	
㊨	ドアホン子機	ボール付 カラーカメラ付 (姿図参照)	
□	ドアホン取付ボール	(建築工事)	
●	電話受口	壁付 6 極 4 芯モジュラージャック	
●	電話受口	床付 6 極 4 芯モジュラージャック	
AP	アクセスポイント	(機器別途)	
Ⓛ	LAN受口	床付 8 極 8 芯モジュラージャック	
Ⓛ	LAN受口	壁付 8 極 8 芯モジュラージャック	
☒	プルボックス		
—	端子盤	端子盤内表参照	
			2 . 二重天井内ケ・ブル転がし配線より、壁・スラブに移行する場合は電線管にて保護する事 又、防火区画貫通箇所は両側に 1 m 突出し金属管にて保護する事 3 . UTP ケーブルは CAT 5 E 規格に準拠する事 4 . 電話機器及び LAN 機器 (アクセスポイント・HUB) は別途工事とし配管・配線のみ本工事とする。

㊦	インターホン親機	㊦	インターホン副親機	㊨	ドアホン子機																																										
																																															
<table><tr><td>電源電圧</td><td>AC100V 50/60Hz</td></tr><tr><td>モニター</td><td>3.5型TFTカラー液晶</td></tr><tr><td>通話方式</td><td>拡声自動文互通話/プレストーク通話</td></tr><tr><td>室内子機</td><td>1台</td></tr><tr><td>録画機能</td><td>自動録画、再生、保護、消去</td></tr><tr><td>形 状</td><td>壁取付型（JIS1個用スイッチボックス+セパレーター）</td></tr><tr><td>材 質</td><td>難燃性樹脂</td></tr></table>		電源電圧	AC100V 50/60Hz	モニター	3.5型TFTカラー液晶	通話方式	拡声自動文互通話/プレストーク通話	室内子機	1台	録画機能	自動録画、再生、保護、消去	形 状	壁取付型（JIS1個用スイッチボックス+セパレーター）	材 質	難燃性樹脂	<table><tr><td>電源電圧</td><td>AC100V 50/60Hz</td></tr><tr><td>モニター</td><td>3.5型TFTカラー液晶</td></tr><tr><td>通話方式</td><td>拡声自動文互通話/プレストーク通話</td></tr><tr><td>形 状</td><td>壁取付型（JIS1個用スイッチボックス+セパレーター）</td></tr><tr><td>材 質</td><td>難燃性樹脂</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>		電源電圧	AC100V 50/60Hz	モニター	3.5型TFTカラー液晶	通話方式	拡声自動文互通話/プレストーク通話	形 状	壁取付型（JIS1個用スイッチボックス+セパレーター）	材 質	難燃性樹脂					<table><tr><td>電源電圧</td><td>モニター付親機から供給</td></tr><tr><td>形 状</td><td>壁取付型（JIS1個用スイッチボックス）</td></tr><tr><td>材 質</td><td>難燃性樹脂</td></tr><tr><td>カ メ ラ</td><td>1/2.9型カラーCMOS</td></tr><tr><td>通話方式</td><td>自動文互通話</td></tr><tr><td>備 考</td><td>防塵・防まつ形（JISC0920IP54相当）</td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>		電源電圧	モニター付親機から供給	形 状	壁取付型（JIS1個用スイッチボックス）	材 質	難燃性樹脂	カ メ ラ	1/2.9型カラーCMOS	通話方式	自動文互通話	備 考	防塵・防まつ形（JISC0920IP54相当）		
電源電圧	AC100V 50/60Hz																																														
モニター	3.5型TFTカラー液晶																																														
通話方式	拡声自動文互通話/プレストーク通話																																														
室内子機	1台																																														
録画機能	自動録画、再生、保護、消去																																														
形 状	壁取付型（JIS1個用スイッチボックス+セパレーター）																																														
材 質	難燃性樹脂																																														
電源電圧	AC100V 50/60Hz																																														
モニター	3.5型TFTカラー液晶																																														
通話方式	拡声自動文互通話/プレストーク通話																																														
形 状	壁取付型（JIS1個用スイッチボックス+セパレーター）																																														
材 質	難燃性樹脂																																														
電源電圧	モニター付親機から供給																																														
形 状	壁取付型（JIS1個用スイッチボックス）																																														
材 質	難燃性樹脂																																														
カ メ ラ	1/2.9型カラーCMOS																																														
通話方式	自動文互通話																																														
備 考	防塵・防まつ形（JISC0920IP54相当）																																														

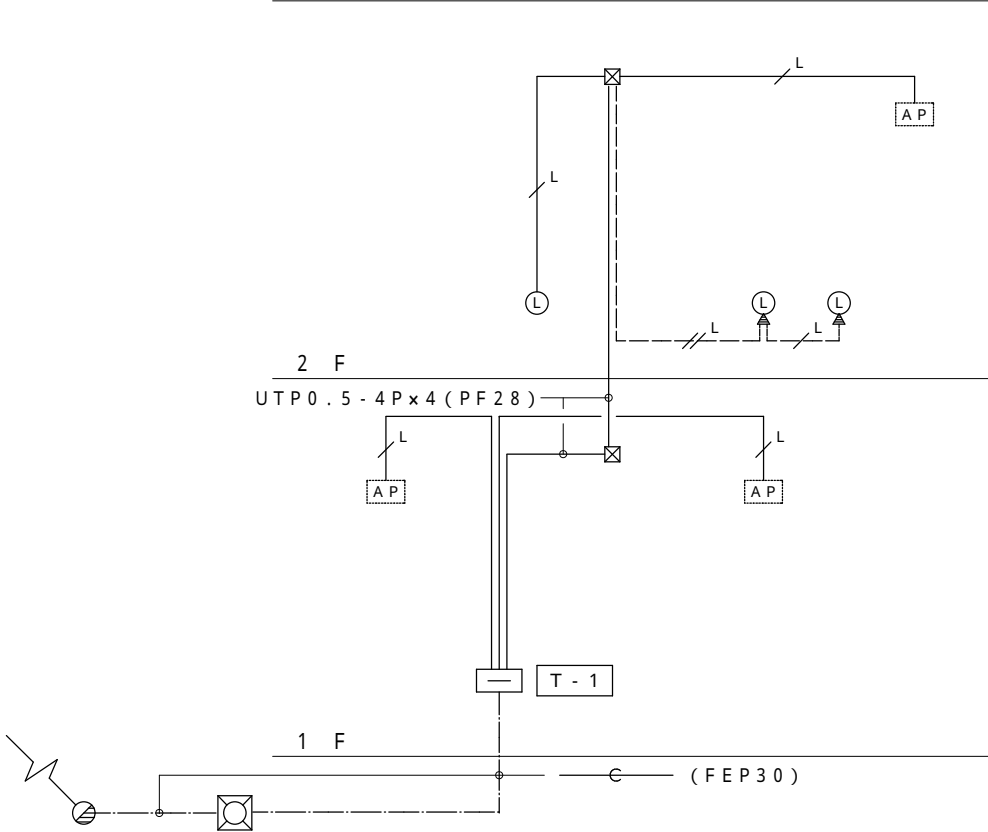
端子盤内表					
	インターホン	電話配管配線	LAN配管配線	CATV	予 備
T - 1	10P	保安器スペース 10P	ONU・CTUスペース HUBスペース 2Pコンセント×1	CATVブースター スペース	10P



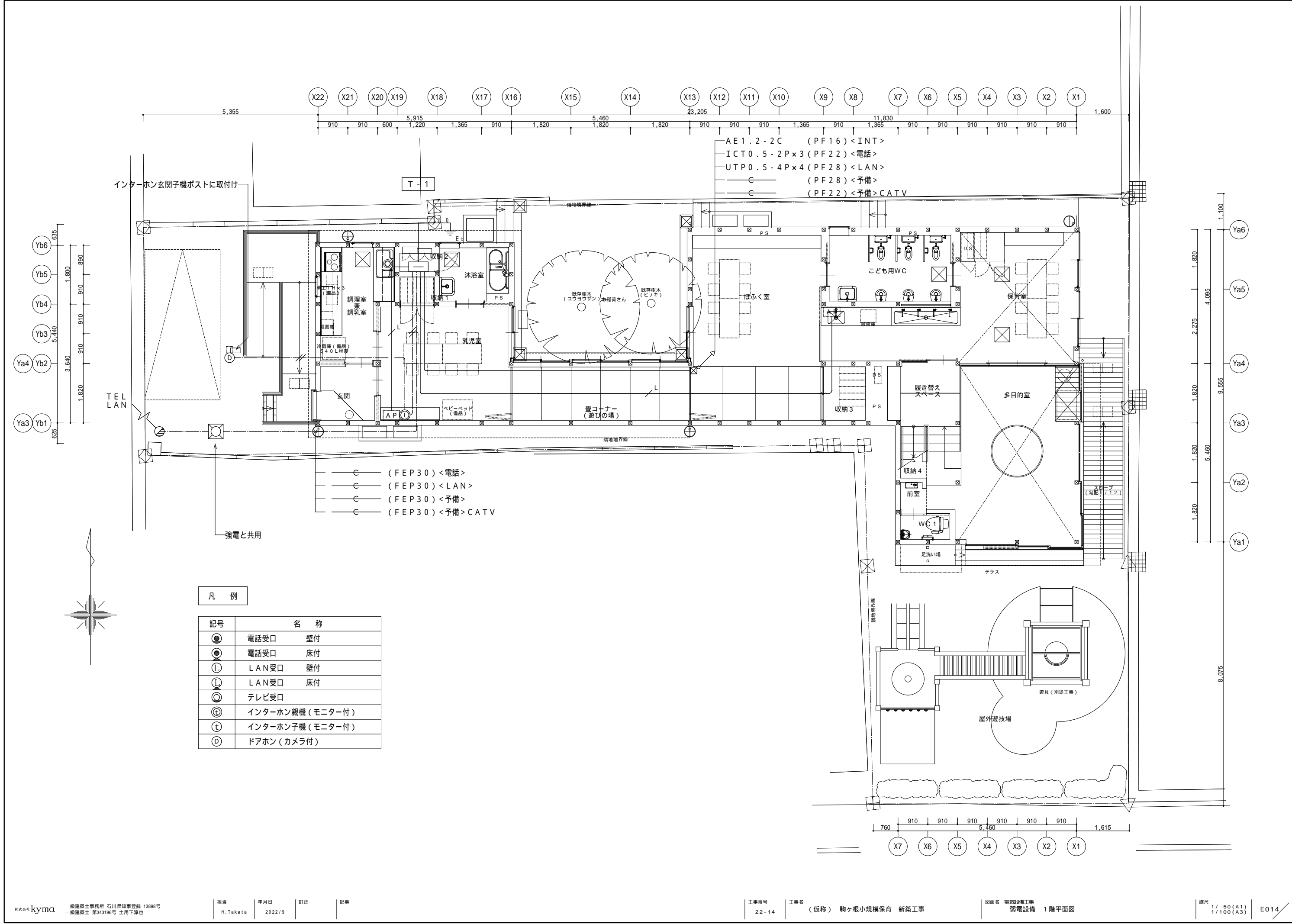
インターホン設備 系統図



電話配管配線設備 系統図



LAN配管配線設備 系統図



凡 例

記号	名 称
●	電話受口 壁付
⊙	電話受口 床付
Ⓛ	LAN受口 壁付
Ⓛ	LAN受口 床付
⊙	テレビ受口
Ⓢ	インターホン親機 (モニター付)
Ⓣ	インターホン子機 (モニター付)
ⓓ	ドアホン (カメラ付)

